

Rotary International District2780

GOVERNOR'S

Monthly Letter

奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために



SERVE TO CHANGE LIVES

2021
11月号
Vol.5

2021-2022
ガバナー月信



Doing Good in the World



先陣を切って行われた第7グループ ポリオ根絶・コロナ鎮静化 祈願祭 (伊勢原大神宮にて) この後続いて5つのグループでも実施された



国際ロータリー 第2780地区 2021-2022年度ガバナー 田島 透
Rotary International District2780 2021-2022 Governor Toru Tajima



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2021～22年度ガバナー

田島 透

「Doing Good in the world」

朝晩日毎に冷え込んできました。風邪など引かれませんようにどうかご自愛ください。

緊急事態宣言も解除されました。新型コロナウイルスワクチンの2回目接種が終了した人は神奈川県でも6割を超え、全国の感染者数も減少傾向が続いています。新型コロナウイルス感染症の一刻も早い終息を願っています。

11月は『ロータリー財団月間』です。

スローガン『世界でよいことをしよう (Doing good in the world)』。これは、アーチ・クラフがロータリー財団を設立したときに述べられた言葉です。

1917年、当時のロータリー会長アーチ・クラフが基金の設置を提案しました。そしてこのビジョンと26ドル50セントの最初の寄付が、世界で多くの人びとの人生を変えるロータリー財団へと発展していきました。

そして、1983～84年度に、11月をロータリー財団月間と決めました。

今月の目標は財団の奨学金事業及び人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施することです。MY ROTARYに多くの情報がございます。ぜひこの機会にご覧いただきたいと思います。

今日まで『ロータリー財団』はポリオ根絶や貧困対策など、ロータリークラブが行うさまざまな奉仕活動の財政的基盤を担う重要な役割を果たしてきています。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。

ロータリー財団の資金を積極的に活用しましょう。ロータリー財団の資金は寄付によるものです。寄付をする事はロータリーの奉仕活動に欠かせない大切な事です。そしてもっと大切なのは、その資金をどのように使うかという事にあると思います。ロータリー財団の本当の価値を引き出すのは、ロータリアンの私たち一人一人だと思います。私たちは地域社会の変化とニーズを敏感に察知し、多くの人々を巻き込んでインパクトのある奉仕活動を実施していきましょう。

また、ロータリー財団が長年取り込んでいるポリオ根絶は皆様からの寄付で根絶の実現が目の前になってきました。今年の1月に、アフガニスタンとパキスタンでそれぞれ1人ずつ男児の発症が見られて以来、野生型ポリオウイルスによる発症は見られていません。世界中のロータリアンが子どもたちとの約束を果たせる日がすぐそこまでやって来ているのです。昨年8月には、WHOはアフリカ全土での野生型ポリオウイルス根絶を宣言しました。残る二つの国にも同じように吉報が届くことを願っています。早く吉報を受け取って皆様と盛大に「END POLIO」を祝いたいと思っています。

地域社会に目を向けると、新型コロナウイルス感染症は地元経済・社会に深刻な影響をもたらしています。世界中の新型コロナウイルス感染拡大に伴い私達の生活は一変してしまい、様々な苦難を強いられています。

ロータリーとして社会が直面している課題(パンデミック・環境保全など)への取り組みに焦点を当てることは、社会やメディアの関心も高いと思われます。

言うまでもなくクラブの基盤は地域社会です。地域にはコロナ禍で疲弊した飲食業や観光産業など、またそれを

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間テーマについて	4
姉妹地区委員会より	5
地区公共イメージ委員会より	6
藤沢東RC社会奉仕活動実施報告	7

クラブ紹介 第6グループ	8
クラブ紹介 第7グループ	13
INFORMATION	16
コーディネーターニュース	17
ロータリーの創生	18
GROW MORE MEMBERSHIP、新会員紹介 他 ..	19

ガバナーメッセージ

支えている流通・サービス業などがあります。また極度の緊張状態にある医療や介護などのエッセンシャルワーカーの存在もあります。いま困っている方々へ我々ロータリアンは地域の一人として、これらの産業や職種に元気を提供できる奉仕活動の実現を模索し実践する時ではないでしょうか。財団補助金を利用してインパクトのある奉仕事業をご検討ください。

当地区では9月25日から10月24日の「世界ポリオデーIN2780」として数々のイベントを開催しています。各グループや各クラブにおいて「ポリオ根絶・コロナ終息祈願祭」、「ポリオ根絶キャンペーン」、10月24日には「世界ポリオ根絶サミット」等の開催にご協力いただいています。次号にて「世界ポリオデーIN2780」特集をお届けする予定です。楽しみにお待ちしております。

「会員増強」しましょう

新年度から早くも4か月が過ぎました。緊急事態宣言も解除され通常の例会運営がなされていることと思います。

「世界ポリオデーIN2780」においては「ポリオ根絶・コロナ終息祈願祭」が6グループで開催されています。また駅前や各地のイベントでポリオ根絶募金活動も再開されるようになりました。これらを契機に会員増強や奉仕活動の再開となることを期待しています。

9月末の会員増強を見ると厳しい状態となっています。下表は7～9月での新会員数・退会者数・本年度の増減を示したものです。

	月初 会員数	新 会員数	内女性 会員	退会者 数	内女性 会員	月間 増減	内女性 会員
7月	2,244	39	14	3	0	36	14
8月	2,280	6	0	4	1	2	-1
9月	2,282	3	1	12	1	-9	0
10月	2,273						
合計		48	15	19	2	29	13

7月の新会員数は39名です。8月は6名、9月は3名となり合計で48名の新会員が仲間になりました。一方退会者は19名おり、純増で29名となっています。8月・9月は新型コロナ緊急事態宣言が発令されていたために休会されたクラブが多く、会員増強に水を刺された状態でした。(右表は例会の全体のクラブ数)

	例会の全体 クラブ数
7月	0
8月	20
9月	22

皆様ご承知のとおり、国際ロータリー シェカール・メータ会長が掲げる今年度の活動目標は、最優先に会員増強が挙げられています。「現在120万人の会員を2022年7

月1日までに130万人(8%増)に増やす。そのために今後一年間にガバナー補佐と各クラブの会長・全てのロータリアンに対し【each one, bring one】で新会員1人を入会するようお願いする。」と話されています。

「do more grow more」

「もっと行動し」とは、より大きく、インパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長する」とは、会員を増やし、参加者基盤を広げることを意味します。

「each one, bring one」、これは各ロータリアンが新会員一人を入会させるようお願いすることです。

これを受けまして、2780地区の今年度重点目標は、2022年7月1日時点の会員数をコロナ前の会員数である2396人(2021年7月1日会員数の+152名、6.8%増)と設定しています。1年間で約152名の会員純増が目標です。

退会者(6月までの退会者数200名を仮定)を考えると約350名の新会員の加入が必要となります。この数は挑戦的な数値目標ですが、以下のように取組を実現させたいと思います。65クラブの皆様、ご協力をお願いします。

そこで全クラブに対して、

- ① ガバナー補佐により会長幹事会を通じクラブ会長から全会員への「each one, bring one」声掛け運動
- ② 会員維持・新入会員育成
- ③ 新クラブの結成促進

をお願いをしました。会員増強促進案について、特に衛星クラブについての色々な可能性について、地区も委員会においても検討いただきたいと思います。

まずは行動していただくことが大事です。

9月末時点での会員増強状態です。

新会員増強クラブ3名以上 ()内は女性会員数

- ① 相模原かめりあRC 7名(7名)
- ② 小田原RC 6名(3名)
- ③ 茅ヶ崎湘南RC 5名(0名)
- ④ 藤沢東RC 3名(0名)
厚木中RC 3名(0名)
2名 三浦RC・葉山RC・相模原RC・相模原南RC・伊勢原RC・平塚RCの6クラブ
1名 鎌倉RC・逗子RC・藤沢RC・藤沢北西RC・藤沢南RC・イノベーションゲートウェイ湘南RC・茅ヶ崎RC・茅ヶ崎中央RC・相模原東RC・海老名RC・厚木県央RC・小田原北RCの12クラブ

合計23クラブが新会員を加入されました。

ありがとうございました。

緊急事態宣言が解除された今、すべてのクラブでそれぞれの基盤強化に努めていただきますようお願いいたします。

月間テーマについて

11月はロータリー財団月間 「世界で良いことをしよう」 ロータリーを不滅にするために

2021-2022年度
地区ロータリー財団委員会

委員長 **大谷 新一郎**
(相模原南RC)



表題は、ロータリー財団創設者のアーチ・クランフの言葉です。ロータリーが文明の続く限り世界で奉仕活動の中心となって活動できるよう、熱い思いを持って財団を設立した心情が強く表現されていると思います。

今年度コロナ禍により活動に大きな制限が生じておりますが、ロータリアンの皆様の日頃の努力と、奉仕に対する理解と協力をもって進んでいきたいと思っております。

まず財団の使命・目標を再確認しましょう。

1) 財団の使命

ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通して、世界理解、親善、平和を達成できるようにする。

2) 財団の目標

ロータリー財団の目標は、博愛、慈善、教育または人道的という特質を持つ明快かつ効果的なプログラムの促進を通じて、さまざまな国の国民の間に理解と友好的関係を助長する事である。

以上の使命・目標を踏まえた上で積極的に補助金の効果的利用を促進していきたいと思っております。

今年度の財団の小委員会は新たに1つ加わり5委員会となりました。

- ①補助金配分/VTT委員会
- ②補助金管理委員会
- ③平和フェロー・奨学金委員会
- ④資金推進委員会
- ⑤ポリオプラス委員会(新委員会)

新しく加わったポリオプラス委員会は今年度田島ガバナリーの大きな年度目標でありますポリオ根絶に対し設立されました。

財団としての今年度活動を記します。

- ①ロータリー財団セミナーの開催 (7月17日)
- ②地区補助金説明会 年2回
(10月16日・1月29日)
- ③地区補助金管理セミナー 年2回
(7月17日・1月29日)

補助金プロジェクト実施クラブはコロナ禍の影響で6クラブと少なかったのですが、その後追加特別応募で4クラブが加わり10クラブのプロジェクトとなりました。なお、申請クラブは今まで1クラブ2名以上の受講が原則でしたが、説明会が密にならないようにとの配慮から1名の受講で可とし、受講された方は他の1名の会員に説明会の内容を伝えるという形としました。

今年度コロナ感染者は徐々に減ってきており、少し前が明るくなってまいりました。皆様の積極的な補助金申請を財団委員会はお待ちしております。

次に当地区の財団ハンドブックについて述べさせていただきます。このハンドブックは歴代の財団委員長・委員の皆様のご努力で、とてもわかりやすく内容の濃い教科書と言っても良いと思います。財団に関してはRIからの変更等が頻繁にあり毎年改訂しております。また資料として地区補助金プロジェクト一覧・グローバル補助金プロジェクト一覧・補助金奨学生一覧・地区受入平和フェロー一覧等は掲示板を設け新たに情報が入り次第アップしております。財団についてわからない事、不明な点はこのハンドブックで解明されると思います。各クラブにハンドブックは配送されておりますので、有効にご利用されることをお願いします。

皆様の財団への寄付が有効に使用され“世界で良いことをしよう”が更に推進されるよう財団委員会一丸となって頑張ります。

最後に財団寄付目標200ドルの達成に向け、ロータリアンの皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

姉妹地区： 国際交流Zoom会議開催



2021～22年度
姉妹地区委員会

委員長 佐野 英之
(秦野RC)

2021年7月24日、RI2780地区ガバナー事務所(会議室)において、姉妹地区のRI3662地区(韓国済州)と初めてZoom交流会議を開催しました。



2780地区Zoom会議会場

現在新型コロナウイルス感染拡大防止の為、相互訪問は出来ず情報交換や親睦を深める目的で行われました。来賓として韓国の李東建元RI会長と小沢一彦元RI理事の激励のご挨拶の下に、姉妹地区のRI3662地区・金河錫ガバナー、RI2780地区田島透ガバナーをはじめ当地区では17名が参加し、両地区の姉妹地区委員長を中心に、各地区の関係者による今後の交流などについていろいろな意見交換を行った。



李東建元RI会長



小沢一彦元RI理事



田島透ガバナー



金河錫ガバナー



佐野英之委員長

《両地区活動報告》

RI3662地区・張勝男韓日交流委員長による両地区が姉妹地区になってから初めて行われた共同国際グランド事業(カンボジアに医療機器支援)活動の報告と、伊勢原平成RCと済州西部RC共同で伊勢原市の中学生と済州の中学生との相互訪問の国際交流の報告があり、ロータリ

ンに大きな影響を与えてくれた素晴らしい事業であったという報告でした。

《女性会員交流について》

RI3662地区では、はじめて女性ガバナー(2022-23年度金慶蘭)が誕生します。そして現在29の女性クラブと1400名を超える女性会員がいます。そこで、RI3662地区とRI2780地区の活発な女性会員の交流を積極的に行うために10人の女性会員で互いに訪問し交流を深めて奉仕活動をしていきます。またZoom会議をきっかけにこれから交流を深めていきたいという活発な意見交換がありました。

《今年度事業及び今後の合同事業》

両地区ガバナーより、今後の有意義な交流になるよう、姉妹地区間の女性会員の積極的な交流と、両地区クラブからの姉妹クラブ締結環境づくりをしていくことを互いに同意をしました。

また尹成珉ノミネー(2023-24ガバナー)より両地区の未来志向的青少年(中学生)交流を続けたいと強いメッセージをいただきました。

《終わりに》

最後に、両地区のガバナーエレクト(RI3662:金慶蘭、RI2780:佐藤祐一郎)から色々な意見交換が出て、大変有意義な交流となりました。コロナ過でお互いに行き来が出来ない中で、これをきっかけにもっと姉妹地区間の交流を深めていきたいと思っております。

(編集 姉妹地区委員 山谷 洋子)



両地区Zoom会議

公共イメージと 認知度の向上のために

2021-2022年度
地区公共イメージ委員会
委員長 **當間 安弘**
(茅ヶ崎中央RC)



公共イメージと認知度の向上は、ロータリーにとって重要なテーマの一つです。
ロータリーをより理解してもらうために、各地区やクラブは様々な周知活動に取り組んでいます
本年1月に国際ロータリー第2660地区で興味深いアンケート調査が行われたので紹介したいと思います。今後の活動の参考にしていただけたら幸いです。

《アンケート》

Q1 あなたは「ロータリークラブ」という団体のことを、どの程度ご存じですか？

37.8%「知らない」、47.7%「名前は聞いたことがある」、13.2%「活動内容や理念などのある程度まで知っている」。
ロータリークラブの活動内容を認知していない方は、85.5%でした。

Q2 「ロータリークラブ」のイメージとして、当てはまるものをそれぞれひとつずつお選びください。

「年齢層が高い」、「裕福な人が所属している」、「企業の役員クラスの人が所属している」、「歴史がある」が上位5割台でした。

Q3 「ロータリークラブ」の活動内容として、あなたが知っているものをすべてお選びください。

45.3%の方が「会員同士の親睦・交流」を選ばれた一方、「国際支援・国際交流」、「会員の職業を通じた地域貢献」を選んだ方が20%未満、「交換留学生などの青少年育成」、「ポリオ根絶活動」を選んだ方は10%未満でした。

以上がアンケート結果です。

これらの数字は、ロータリアン以外の方がロータリークラブに対して抱いている認識であり、印象です。思い当たる節もあれば、もう少し知っていただきたいと思うところもあります。

ロータリアン自身と世間の認識のずれを少しでも埋めていくことで、ロータリークラブ、そして私たちの活動への理解者を増やすことになり、より効果的な奉仕活動ができるのではないのでしょうか？そのためには、日ごろの活動内容を一人でも多くの方に知っていただくことも大切です。

当地区公共イメージ委員会では、ソーシャルメディアを活用して、活動内容を発信しております。また、地区内クラブの発信をシェアすることにより一人でも多くの方に情報をお届けしたいと思っております。地区内ロータリアンの皆様も発信力の高い方々です。是非、地区公共イメージ委員会のFacebookやYouTubeに登録いただくとともに、情報の拡散にご協力をお願いいたします。



【Facebook】

「国際ロータリー第2780地区 2780now」

毎月第3水曜日16時45分より、地区委員会活動の紹介をライブ配信で行っております。



【YouTube】

「第2780地区公共イメージ委員会 2780NOW」

“いいね”、コメント、シェアをよろしく願います。

子ども食堂

2021～22年度
社会奉仕委員会

委員長 竹之内 健次
(藤沢東RC)

7/24に実施した社会奉仕活動について報告します。

対象は、藤沢市村岡地区において、2017年4月より地域ボランティアの方々を中心として活動している子ども食堂「ゆめちゃん食堂」。

■ゆめちゃん食堂理念

- ①子ども1人でも安心して利用できる食堂
- ②子育てを頑張っているママ達がほっとできる、元気になれる食堂
- ③地域の大人(ボランティアさん)とのふれあいの場となる食堂

※ゆめちゃん食堂概要より

今回は緊急事態宣言によりお弁当の配布を休止し、夏祭りを開催するという事で当クラブより13名でお手伝いに伺いました。

コロナ禍により我慢を強いられている子どもたちができるだけ楽しんでもらえるように、地域のボランティアの方と一緒にスーパーボールすくい、当てくじ、水鉄砲などを用意してお出迎え。東京オリンピック開会式の翌日、とても暑い日でしたが、未就学児から小学校低学年の子どもたちと親御さん100名ほどの方が遊びに来てくれました。

元気いっぱい遊ぶ子どもたちの笑顔に癒され、たっぷりの充実感と心地よい倦怠感に包まれた1日でした。コロナ禍により奉仕活動を行うことが難しい状況ですが、これからも自分たちが出来る範囲の奉仕に取り組んでまいります。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。



参加した会員の感想も一部転載致します。

「今年は長く続く緊急事態宣言下での夏祭りとなったため食事の提供は控え、縁日の遊びに加え、手作りのポーリングやぬいぐるみくじ引きなども登場し、子どもたちに楽しいひと時を提供できたと思います。また、我々会員にとっても奉仕活動を通じて、普段関わりのない子どもたちや若いお父さんお母さんたちともふれあい、楽しい時間を過ごせたと思っています。」

「奉仕活動であること以上に子どもたちと遊んだりおしゃべりすることで暑さを忘れ、我々が元気をもらえたような気分になり非常に充実した一日でした。」

「社会奉仕の実践は、奉仕させていただいた会員に喜びと幸せを与えてくれました。ボランティアの皆さんに感謝申し上げます。」

「ゆめちゃん食堂のコロナ禍でも継続する工夫に感謝すると共に、地域の心温まる時と場所だと感じました。」

「コロナ禍の中、密にならないよう配慮して開催されました。子どもたちやお父さんお母さんにも大変喜んでいただいたと思います。また是非参加したいと思いました。」

「スーパーボールすくいのお手伝いをしました。一度に続けて上手に3つもすくうお子さん。1つすくって、親に見せて喜んでいるお子さん。ボールすくいを水に入れたとたん紙が破れてしょげているお子さんには、そっと新しいものを渡すと喜んですくっていました。久しぶりにお子さんたちと水遊びができた楽しい時間でした。」

「4年目の奉仕で現場に出る奉仕は2回目の今回は、あらゆるイベントが中止に追い込まれる中での開催でしたが、屋外の広々としたスペースで、ゆめちゃん食堂のスタッフの方々と共に、子どものみならず保護者の方々にも笑顔を取り戻して頂ける奉仕活動が行なえたのではないのでしょうか。地元においてこの様な奉仕活動ができることに感謝しています。」



クラブ紹介

第6グループ 厚木ロータリークラブ

会長 森住 等



厚木ロータリークラブは昨年60周年を迎えました。

コロナ禍でもあり、皆様を迎え楽しくお祝いということにはなりませんでしたが、会員と久保田英男ガバナー・辻彰彦ガバナー補佐というメンバーで質素ではありましたが、非常に充実した感動的な時間を共有することが出来ました。

記念事業の予算の一部で、厚木市立病院へ自動体温計の寄付などをさせていただきました。

通常年度では小学生の健全な育成のためにティーボールの支援や、クラブ内に土業を行なっている会員も多いので、無料相談会をさせていただいています。

本年度も行えるかどうかわかりませんが、密を避けコミュニケーションを取れないロータリー活動は難しいです。その中でも少しずつでいいから前に進めればと思います。

こういう時こそロータリーは何が出来るか考えていきたいと思います。



第6グループ 大和ロータリークラブ

会長 本田 誠一



当クラブは本年創立60周年を迎え、令和4年3月13日には式典を開催いたします。歴代の先達者が築き上げた伝統と継承とは、時代の変化はあろうと会員の研鑽した能力を活かし、より良いチーム創りを目指す事です。

現在33名の会員はコロナ禍であっても退会者は0です。ジェネレーションギャップを感じることは無く、顔合わせで感ずることは「若い(精神年齢)、明るい、仲が良い」です。最近では、委員会・理事会は、慣れないハイブリットに挑戦もしています。

第3回やまと児童絵画コンクールが10月3日、大和シリウスに於いて開催、テーマは「わたしたちのオリンピック」。市内小学校の児童から366点の出品がありました。表彰の際、入賞した児童と保護者の喜びの顔はとても印象的でした。新しく発足したIT委員会がホームページ、VRを製作、全作品を臨場感溢れる観覧ができる試みも良い提案と思います。

イベントは携わる人の思いが良い結果に繋がります。出展依頼、作品整理、審査会、展示、後片付け、会員がチームワークで「超私の奉仕」を実践したことは、また一つ大和ロータリークラブの大きな財産となりました。



クラブ紹介

第6グループ 座間ロータリークラブ

会長 矢部 雅文



座間ロータリークラブは会員30名(平均年齢52.8歳)でのスタートとなり、創立52年目を迎えました。

本年度の会長方針は「Re cover」。コロナ騒動から回復し、以前のような活気に満ちた例会を取り戻そうと試行錯誤しながら例会を行っております。

2021年6月には、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い座間市での開催がオンラインとなった成人式を民間の手でリアル開催しよう!と座間市内の諸団体が協力し、当会主催の元、『20's Fes ZAMA ~大人への扉~』を開催し、新成人をお祝いする事が出来、このコロナ禍でも工夫をすれば思いは実現できる!と微力ではありますが地域社会奉仕事業を行いました。

先の見えない大変な時期ではありますが、いずれかは道が開かれることを願い、会員と共に活気あるクラブ作りと奉仕活動に邁進して参ります。



第6グループ 大和中ロータリークラブ

会長 阿萬 正巳



当クラブの自慢は3本の奉仕事業と同好会です。3本の奉仕事業は、

1. 児童発達支援センターに通う未就学の子供とその家族に、貸切で気兼ねなく映画を楽しんで頂く事業
2. 地域の人々に交通事故の怖さ、交通マナーを楽しみながら学んで頂ける「交通事故撲滅大作戦」
3. 高齢者に落語を楽しみながら、特殊詐欺防止の啓蒙を行う「ロータリー寄席」

です。地域の子供から高齢者の方までバランス良く、奉仕活動が行えていると自負しております。

同好会は4つあります。

1. ゴルフ同好会 年2回のコンペを開催しています。コロナ禍でも活動は盛んです。
2. カラオケ同好会
3. ノルディックウォーク同好会
秋に藤沢の小出川周辺を、彼岸花を観ながら歩いています。ウォーキング後は毎回、網元料理で懇親会です。
4. ダンス同好会
社交ダンスを中心に月4回レッスンを行っていました。クリスマス例会では発表会も行っていました。コロナの影響により活動休止中です。



クラブ紹介

第6グループ 厚木中ロータリークラブ

会長 竹内 祥晴



厚木中ロータリークラブは、会員数27人のクラブですが、熱心に会員増強を続け、2020-21年度には2人を増強、2021-22年度にはすでに3人を増強しています。旧来の会員が高齢化する中、新会員の加入は若い息吹とともに、クラブに活力を与えてくれます。

コロナ禍で、多くのクラブがハイブリッド例会やZoomによるリモート例会に移行する中、当クラブは「会員相互の輪が和に繋がる」との精神でリアル例会にこだわりました。リモート例会に切り替えたのは、緊急事態宣言が発出されてからのみです。

当クラブは伝統的に奉仕活動が活発で、コロナ禍にありながら、インターアクトクラブとロータリーアクトクラブへの支援は続けています。両クラブとも活動には制約を受けていますが、インターアクトの顧問教諭からは「奉仕の精神を持ち続け、コロナ後にはより効果的な奉仕活動を再開したい」との力強い言葉も頂いています。

当クラブとしても、コロナ後の奉仕活動再開に向け、地域ニーズの掘り起こしをしているところです。



第6グループ 大和田園ロータリークラブ

会長 古谷田 紀夫



40周年を次年度に迎えるにあたり!

創立より39年目を迎える中、今年度はコロナ状況下のロータリーライフとなっております。このような中で、我がクラブを振り返ってみると会員数規模からみても、活動内容からみても、多くの人数を有するクラブや長い伝統をお持ちのクラブと比較して、見劣りしてしまうことが多々あると言えますが、大和田園RCを一言で表すと「山椒は小粒でもピリリと辛い」「The best things come in small packages!」となります。正に、大和田園RCは、この様なクラブであると言えます。

多くの地域や諸外国に対しても関心を持ち、10年前の大震災には、会員の皆で助け合いの精神により、個々の会員が、できることをしていこうとの精神で行動しました。

その精神は、今の大和田園RCの中で育まれています。そして、ロータリー活動を通して、誰にとっても、差別なく、穏やかに住みやすい世界を創造する道を会員一人ひとりが、相互に協力していく姿勢を育みながら歩んでいるのが、我が大和田園RCといえます。



クラブ紹介

第6グループ 海老名ロータリークラブ

会長 見方 雅教



海老名ロータリークラブは、会員数51名(2021年10月1日現在)と第6グループでは最も会員数が多いクラブです。

本年度当クラブは35周年の節目を迎え、35周年の記念事業として海老名市立中央図書館に図書除菌器を寄贈すると同時にその除菌器を用いた図書の除菌奉仕事業を行います。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い図書館で図書を借りることに躊躇される傾向がありますが、この除菌器を市民の皆様にご活用いただき安心して図書を借りていただけるようになれば我々にとってこれ以上の喜びはございません。

当クラブの本年度のテーマは「だから、海老名ロータリー」です。海老名ロータリー「だから」できること、こんなに素晴らしいクラブ「だから」私は海老名ロータリーに所属したい、こんなに素晴らしいクラブ「だから」あなたにも我々と一緒に活動する仲間となってほしい、という色々な意味の「だから」を一年間かけて探して行きたいと思えます。



第6グループ 海老名櫛ロータリークラブ

会長 本井 公浩



今年で設立26年、クラブ内ではここ数年、定期的にファイヤーサイドミーティングを開催し、委員会活動や中長期的なクラブ方針などを話し合う場を設けています。当クラブには、誰でも何でもいい合える環境があります。仲良しクラブである事が一番自慢できる事かも知れません。(スポーツや楽器演奏などの同好会活動も盛んに行われています)

奉仕活動では、環境奉仕事業として、海老名の大櫛(樹齢580年)の清掃活動や再生プロジェクト、青少年育成事業では、2016年まで海老名市少年野球大会「海老名櫛ロータリークラブ杯」、2017年より海老名市少年少女ミニバスケットボール大会「海老名櫛ロータリークラブカップ」を開催サポートさせていただいています。2019年にはプロバスケットボールチーム横浜B-CORSAIRSの選手をコーチにお招きし、子供たちの1DAYスクールを開催したことが話題になりました。地域の財産である子供たちの活躍の場をサポートさせていただいています。本年度は7つの重点分野と同様にSDGs活動への取組み、また他団体組織との連携を視野に活動を行っています。



クラブ紹介
第6グループ 厚木県央ロータリークラブ

会長 和田 貴樹



私たち厚木県央RCは全てのメンバーが地元企業の所属会員で構成されている、地域密着の活力のあるクラブです。ロータリアンとしてクラブ奉仕や職業奉仕はもちろん、少年野球教室や柔道大会への協賛などの青少年奉仕、創立20周年を機にラオスの小児病院支援を目的とした国際奉仕の活動にも踏み込みました。

昨年は初めて地区補助金の配分を受け、この小児病院の院内農園支援の活動に取組み、コロナ禍の困難のなか会員の熱意により、海外での支援活動を見事に達成する事ができました。そして通常の例会さえ休会せざるを得ないクラブが多いなか、この様な活動が完遂出来たのは、クラブ運営のIT化が充実していたからこそ達成できたものと考えております。我がクラブでは昨年4月の行動制限以降、Zoomでの例会や理事会を積極的に開催してまいりました。今年度もハイブリッドやオンラインにより休会を極力避け例会を開催しております。

今年度は会長方針である「会員増強と委員会活動の活性化」を柱に取組み、来年度迎える創立25周年に向け「ロータリーの7大重点項目」を意識した新たな奉仕活動の展開を考える一年として努力しております。


第6グループ 本厚木ロータリークラブ

会長 金澤 平



本厚木ロータリークラブは、神奈川県が創設した「かながわSDGsパートナー(第2期)」としてSDGsへの理解を深める活動に取り組んでいます。

「本厚木RC杯少年野球大会」の開催を通じて、参加児童が性別に関係なく参加し、優勝チームと当クラブとの世代間交流試合の実践、マイボトル推進によるプラスチックスマート教育などのSDGs理念で大会運営を実施しています。

2020年には国道交差点に、SDGsに対する理解増進を目的に大型看板を設置いたしました。

そして、チャーターナイト記念例会に、一般社団法人こども食堂支援機構 代表理事・秋山宏次郎氏による講演を開催するとともに、SDGs啓発本を近隣市町村の教育委員会を通じて各小中学校に寄贈致しました。なお、本の売上金は全国のこども食堂支援にも使われます。

ロータリーの理念は全てSDGsと結ばれており、本厚木RCはこれからもSustainable Development Goals(持続可能な開発目標)に向けてチャレンジし続けます。



クラブ紹介

第7グループ 秦野ロータリークラブ

会長 大澤 公一



秦野ロータリークラブは、昨年度に創立60年を迎えました。コロナ禍で盛大な記念式典は出来ませんでした。更なる100年を目指しております。

コロナ禍でも地域のニーズに応えるべく地道な奉仕活動は継続して実施していますが、今年度は老人ホームを慰問し、高齢者の方々に音楽を楽しんでもらえるよう準備しております。

例会は、出来る限りの感染防止策を施し、対面で行っております。当クラブは長老、新会員の会員同士の仲が良く和気藹々として例会が進行しております。今年度から紙での週報の発行を止めました。紙での週報に愛着のある会員も多数いましたが、時代の変化に応じデジタルにより例会の様子を動画も入れて発信しています。当クラブの楽しい雰囲気の例会などを見てもらえれば公共イメージの増進に役立つと期待しています。

当クラブが1971年から始めた交通遺児等育英基金をスタートとする公益財団法人秦野ロータリー奨学基金による奨学金は、多数の応募もあり、8名の将来の希望に燃えた新入大学生に交付できました。この奨学金が役立って夢が叶えられる若者が増えればいいと期待しています。



第7グループ 伊勢原ロータリークラブ

会長 田中 徹



当クラブは、創立53年目を迎え、99歳の最高齢パストガバナーをはじめ、現在53人で、楽しく活動をしています。今年度はコロナ禍で思うような活動ができていませんが、新規事業として、NPO法人が主催する「こども食堂」に対し、支援金を贈呈しました。そして、来年3月には、地区補助金を活用して、青少年の「ダンスフェスティバル」を開催する予定です。

また、当クラブでは、ゴルフ同好会の活動が盛んであり、会員の約3分の2が同好会に加入しています。同好会は、年4回ゴルフコンペを開催し、多くの会員が参加し、会員相互の親睦を深めています。さらには、今年度は中止になりましたが、友好クラブの「伊勢崎ロータリー」と親睦コンペも実施しています。



クラブ紹介

第7グループ 秦野中ロータリークラブ

会長 内藤 房薫



秦野中ロータリークラブは創立44年を迎え、現在会員は39名(男性37名女性2名)です。アットホームな居心地の良いクラブで、いざという時の結束力は目を見張るものがあります。継続事業として震生湖付近になりますが『ヤマユリの里づくり』を行っております。

種まき、落ち葉掻き、下草刈り、支柱立てと汗を流し、7月初旬にはボランティアの皆様とオカリナとハーモニカの音色を聴きながら鑑賞会を行います。また近くの園児たちを招いて農業体験をしてもらおうとサツマイモの苗植え、収穫をしておりますが、本年はコロナ禍の為園児たちを招くのは中止としました。その他、郷土の生んだ歌人前田夕暮の功績をたたえた「夕暮れ祭り短歌大会」や女子児童のバレーボール大会「ピンクカップ」の支援をしております。

本年は、「ロータリー活動を取り戻そう!」という気持ちで取り組んで参ります。職業奉仕をテーマとして職業(事業)を蟻の目と鳥の目で見ようということで、蟻の目からは卓話でそれぞれの仕事を紹介いただき、鳥の目からはマクロ経済の視点で経済講演会を企画しました。11月13日(土)に中野剛志先生を招いて『目からウロコが落ちる奇跡の経済教室』というテーマでお話し頂きます。何故失われた30年となってしまったのかを理解できるヒントになると思います。



「奇跡の経済教室」講演会
 中野 剛志
 11月13日(土) 14:00-17:00 会場 50名
 観望会主催 1席 大会場

第7グループ 伊勢原中央ロータリークラブ

会長 熊澤 美徳



伊勢原中央ロータリークラブは、1978年に創立され43年目を迎えました。過去にカンボジア難民救済活動に取り組み「意義ある業績賞」を受賞するなど、諸先輩方の奉仕活動に対する姿勢を継承し、日々何かできないかと会員同士模索しています。継続事業として毎年、伊勢原市立図書館へ図書・備品等を、伊勢原市少年野球学童部へ優勝旗とトロフィーを寄贈しています。

今年度は地区補助金を使って、「伊勢原開村400年記念事業」という奉仕プロジェクトを立ち上げました。伊勢原市制50周年でもあり市の後援をいただき、伊勢原の歴史をまとめた冊子を作成して市内の中学生に配布します。また、観光ボランティアのご協力を得て、伊勢原開村400年街並ウォークキングを実施する予定です。

会員数は12名と少人数ではありますが、若手とベテランのバランスがとれていて、会員同士のコミュニケーションは良好で結束力のあるクラブです。自クラブからガバナーを輩出した時にたまたま伊勢RCのガバナーとお繋がりができたことと伊勢市と伊勢原市の歴史的な繋がりがきっかけで、2001年伊勢RCと友好クラブの関係を締結しました。現在、継続でインドネシアからの米山奨学生の世話クラブをしています。今はコロナ禍で例会数を減らしていますが、徹底した感染予防対策をした上で、例会場に集まり顔を合わせて例会を行うことを重要視しています。例会での食事の質には気を配り、食後のコーヒータ임も大事にしながら、アットホームな雰囲気のある例会を開催しておりますので、是非気軽にメイキャップにお越し下さい。



クラブ紹介

第7グループ 秦野名水ロータリークラブ 会長 鈴木 和夫



我がクラブの今年度スタートは会員数16名(内女性7名:女性比率43%)と、所帯は小さいですが、メンバーが一丸となり、連帯感を大いに発揮し活動できるクラブであり、今年度重点課題の1丁目一番地に会員増強を掲げ全員で頑張っております。

第1四半期に実施できた「外国コイン募金箱の設置」事業を紹介したいと思います。海外旅行などで持ち帰った「外国コイン」、銀行では換金が出来ない為、家の引出しに眠っている「外国コイン」、一説には1兆3000億円にも上ると言われているコインの寄付を募り、「ユニセフ」への代理寄付を行いました。四年前にも実施しましたが、今回も秦野市のご協力を頂き設置箇所を少し増やし実施しました。募金箱を設置して早々に、設置先より「コインが大分貯まっているので回収して」との連絡が…。手分けをして5ヶ所の募金箱の中身を回収、その量は約30kg!に。会員皆で「市民の皆様の温かい気持ちに感謝したい」と話しております。今回の事業を実施して思ったことは、何事も見直しをするという事は大切だなと言う事です。これからも会員一同、心を一つにして、奉仕活動に取り組んで行きます。



第7グループ 伊勢原平成ロータリークラブ 会長 野崎 岳彦



伊勢原平成ロータリークラブはコロナ禍の中、第2780地区内で最初にオンライン(Zoom)例会を取り入れるなど、方向性が決まったら即、一致団結するクラブです。

今年度の田島透ガバナー公式訪問は緊急事態宣言中だった為、ワクチンを2回接種した会員は集合し、そうでない会員はZoom参加のハイブリットで開催しました。

これまでのクラブの代表的な活動として、伊勢原市在住の選抜小学生とのオーストラリア訪問や選抜中学生との韓国済州島での交流研修(補助金事業)などがあり、青少年の人材育成を目的とした国際交流活動を成功させてきました。今後も未来を担う青少年の育成に繋がる活動を企画していきたいと考えています。

令和4年3月にも地区補助金の支援を受け、地域の子供達と一緒に伊勢原市内の公園を整備する奉仕活動を計画しています。全員がワンチームとなって友情を深め、笑顔で元気に楽しく地域社会に貢献したいと思います。

今年で創立32周年、40周年記念式典では会員総勢30名以上で迎えられる礎をつくるため、今年度は仲間を増やす1年にしたいです。





INFORMATION

みんなでヒューストン国際大会へ行こう！ 新たな地平線を発見しよう！

今すぐ登録
早期登録割引
実施中

2021年12月15日まで



オンツォー・ヒューストン
国際大会委員会
委員長 佐藤 祐一郎
(津久井中央RC)

2022年6月5日(日)

開会式

仲間と集う地区ナイト開催(予定)

<ご登録方法>

RIホームページまたは、クラブ事務局
よりご登録ください。



Let's all go to HOUSTON!

地区戦略計画委員会
のちょっとしたお話し

～ビジョンや行動目標作るって大変？～

インタビュー・文筆 地区戦略計画委員会 委員 岩澤 あゆみ

岩澤委員

9月号では平塚RCさん、10月号では横須賀RCさんのクラブ戦略計画や中期ビジョンについて、月信で紹介をさせて頂きました。2つのクラブの事例を受けて、「ふむふむ、なるほど。こんな風にやるのか。」とか「いやいや、こんな風にはうちは出来ないよ～」など色々な感想が届いていますが、阿部副委員長はどのようにお感じですか？

阿部副委員長

2つのクラブともそれぞれのアプローチの仕方でもクラブの未来を描き、その実現のための戦略を立てたり、クラブのあり方というものをビジョンという物にされていました。クラブ毎にクラブにあったやり方があるのだなということを感じましたね。

岩澤委員

そうですね。クラブの戦略やビジョンを作ろうと言っても、正解や方法は一つではないですよね。でも、大切なことは実際に動いてみるって事だなと感じましたが、いかがですか？

阿部副委員長

その通りです。先にビジョンを立て、次の年度から行動目標や計画を具体的に立てるクラブもあれば、1年の中で何度もフォーラムを開いて、アンケートや会員の声を集めて、ビジョンを作るクラブもある。方法は一つではなく様々あるのだと思います。戦略計画とかビジョンと言われると難しく捉えがちですが、こんなクラブになったら良いよねという気持ち、そしてそれをどう行動に移すかってことが大切ですね。

岩澤委員

会社でも必ず理念やビジョンや、中期的な事業計画ってありますもんね。未来のクラブ像を描き、それを言葉で定義する。12月には地区主催でフューチャービジョン会議もあるので、クラブ活性化のための参考になったらいいですし、今後も様々なクラブの事例をご紹介したいですね。Think for the Future.Take Action,Now!ですね。

ブランドを育てる(ブランディング)

■ブランディングの意義

企業においてその名と活動の意義を広く社会に認知し理解してもらうことは、経営戦略いわゆるマーケティング戦略においてとても重要なことです。同様に奉仕と親睦を標榜し、職業人による世界的ネットワークを構築してきたロータリーにおいても、世界中の地域社会に好ましい変化をもたらす行動人として、その活動を認知してもらうことは公共イメージ向上にとって大変重要なことです。その本質は、ロータリーの存在意義(意味)とその活動の「魅力」を伝えていくことです。

そのためには「ロータリーのブランド」を育てていく必要があります。そもそも「ブランド」とは、焼き印のことで、特定生産者による商品を他のものと識別する手段として使われてきたものです。ブランドはロゴマークやその意味するものを企業と顧客との接点(タッチポイント)を通して、顧客に評価され、顧客の脳裏に蓄積されていく価値のことです。したがって「ブランディング」は、顧客の頭の中にブランドを構築し、価値を高めて確固たる評価を得ていくことです。つまりブランドを育てていくことです。「ロータリーのブランディング」においても、ロータリアン及び、クラブと地域住民や各種団体などのタッチポイントを通して、ロータリーの魅力を広く社会に認知され評価されていくことが求められます。

■インナーブランディングとアウトターブランディング

クラブや会員が各種の奉仕活動を通じて、地域住民や各種団体とのタッチポイントによる一貫性のある訴求行動をとっていくことが、ロータリーブランドの「らしさ」(価値)をつくるカギとなります。ロゴマークの入ったTシャツでの町の清掃や祭り、各種イベントでの協力、こういったその場その時のタッチポイントが公共イメージ浸透のカギとなります。ロータリー活動に関わるすべてのロータリアンが、何をなすべきか課題を明確に抱いて目標に向かって行動

することが必要です。これを成功に導くためには、まず会員へ行動を促すためのロータリー研修、ことに公共イメージ向上のためのブランディング研修が欠かせません。この会員向けに行うブランドの意識づけが「インナーブランディング」です。

一方「アウトターブランディング」と呼ぶテレビや新聞、ネット記事などの外向けの宣伝広告あるいは展示会やイベントがあります。宣伝広告は広域にわたり広報されますが、かなりのコストがかかります。コストのかからない方法として、新聞や雑誌等のメディアに「記事」として取り上げてもらう「パブリシティ」がありますので、意義ある奉仕活動を記事に載せてもらうことも重要です。

■日経新聞に掲載

去る10月22日(金)の日経新聞にロータリーの記事が掲載されました。「地球の課題 今、解決へ若い力を」を大見出しに、辰野克彦RI理事がインタビューに答える形で、ロータリーとは、ロータリーの特色とは、世界での奉仕活動についてなど、思いを込め力強く述べられています。またロータリーの「とんがり」ともいうべき「ポリオ根絶」のメッセージ、日本独自の「米山記念奨学会」の紹介や、日本ロータリー黎明期のクラブも紹介されており、アウトターブランディングにとっても有効であると感じました。皆さんの地区や地元地域において、この日経新聞のようなマスメディアのメッセージを活用していただき、ロータリー活動を活発に行われることを期待いたします。

ブランディングの意義をご理解され、「インナーブランディング」と「アウトターブランディング」がうまく調和して一貫してロータリー活動が実施されれば、ロータリーと社会がつながり、クラブの活性化とロータリーの公共イメージ向上に大いに役立つものと信じます。

第二地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐

高良 明 (川崎西 RC)

会員数9万人復活を!

昨年年初からあっという間にパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症ですが、わが国ではワクチン接種の進展に伴い、何とか収束の気配がしてきました。

全世界に衝撃をもたらしたこの新型コロナウイルスに、我らがロータリーも多大な影響を受け、その活動の停滞だけでなく、結果的にクラブ数や会員数にも大きな打撃を受けました。一昨年7月から見ると、日本でも34地区のうちクラブ数が増えたのは2730地区(鹿児島・宮崎)の1地区だけで、実に22地区でクラブの終結・減少がみられ、全地区で会員数が減少し、現在8.5万人と低迷しています(いずれも7月末対比)。ただ、その中で世界のロータリー会員数は、130万人を目指すシェカール・メータRI会長の「Each One, Bring One」の檄によって、今年6月に116万人台まで落ち込んでいたものが、10月には119万人にまで回復しています。

その会員増に貢献しているものに、2013年度から導入された「衛星クラブ」があります。「衛星クラブ」はわが国でも昨年度から各地区で具体的な取り組みが始まり、昨年度で9クラブ、今年度は7月に2クラブが誕生しています。そしてこの動きは「衛星クラブ」の理解度が徐々に高まってきたということだと思います。これから

が楽しみです。是非、これからのロータリアンの登竜門としての「衛星クラブ」設立を検討してみてください。

さて、ロータリーの基本は“サービス”ですが、このロータリーサービスは行動があつて初めて具現化されます。新型コロナ禍では、クラブ例会が休会に追い込まれたり、オンラインでの開催になるなど、クラブサービス活動にも制約を受け、更に目指す社会奉仕活動においても制限を強いられるようなものにせざるを得ない状況でした。でもそれも緊急事態宣言やまん延防止措置が解かれた今、私どもはその喜びを早速行動で表しましょう。そして各会員、各クラブ、そして各地区のロータリーサービスに勢いを感じられるものになれば、それがロータリーブランドの向上につながり、ひいては新会員の入会促進と会員の退会防止にもつながります。私共は会員一人一人の会員増強活動も大切ですが、各クラブ、各地区では、公共イメージ向上委員会と一体となって、ロータリーサービスの素晴らしさを社会の皆さん方に広めていき、クラブの門戸を叩く人を増やしていただければ、それは本当の基盤向上につながります。さあ、わが国でもあと8か月で、会員数9万人復活を実現しましょう!

第二地域 ロータリーコーディネーター補佐

神野 重行 (名古屋名駅 RC)

Dawn of Nobility — How was Rotary established? —

ロータリーの創生 Vol.4

文・絵 寺田 圭次 (ふじさわ湘南 RC)

監修 田島 透 (ふじさわ湘南 RC)

<ロータリーの胎動>

回を重ねる毎に会員数は目覚ましく増えていき、クラブの形態も着々と形成されていった。

第4回例会はハイラム・ショーレーの洋服店、5回目はウィリアム・ジェンセンの不動産事務所、6回目はハリー・ラグルスの印刷所で行われた。

クラブは大所帯に膨れ上がり、会員の事業所では手狭になったため、7回目から例会はホテルで行われることとなった。最初に例会場として使用されたのは当時シカゴ最大のホテル、パーマー・ハウス (現パーマー・ハウス・ヒルトン) である。

ROTARY EMBLEM
1906



Paul.P.Harris

ロータリークラブのエンブレムもこの時期に作成された。

20世紀初頭のアメリカ全土には数100万台の馬車が行き交い、経済を支える流通を担っていた。そこでロータリークラブは主に経済人で構成されていることからエンブレムのモチーフはワゴンホイールに決定、印刷業のラグルスが形を整えデザインを完成させた。このホイールの放射線形状は時代を経ても踏襲されていき、その後変更が繰り返され現在の歯車型のデザインとなった。

ロータリークラブは1人の平凡な街の弁護士が中心となり、商店主や中小企業経営者からなる団体で、特別に高い学歴のエリート集団ではなかった。ロータリー活動を通じエリートを生み出す、そこに意義があったと言える。

そのようなクラブを纏めるためには厳格なルールを定める必要があった。

まず会員は皆多忙な事業主なので、効率を考えて例会は昼食を兼ねることとした。親睦と友情の集まりなので例会出席を最重要視し、4回連続で欠席すると会員資格を剥奪された。発足当初2週間に1回だった例会は毎週集まることとした。そして会長及び役員任期は1年と決められた。

クラブは自我の強い事業経営者の集まりであり、例会では議論をぶつけ合い熱を帯びることがしばしば。ある時ギクシャクした雰囲気や和らげようとラグルスが唱歌を歌い始めた。これが例会のロータリーソング斉唱として定着していったと言われている。



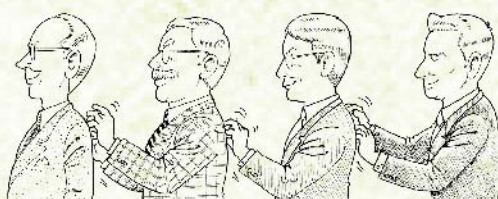
Harry Ruggles

<親睦と相互扶助>

ハリスが考えたロータリー発足当初の目的は会員同士が親睦と友情を深めることだった。しかし次第に会員が互いに事業上の利益を図り合う相互扶助の考えが強まっていく。

1906年初頭にハリス、マックス・ウルフ (Max Wolf)、チャールズ・ニュートン (Charles Newton) により制定されたシカゴクラブ最初の定款には「親睦深化」より前に「職業上の利益拡大」がしっかりと記されていた。

“Back Scratching”。自分1人では手の届かない背中を互いに掻き合うという意味である。当時のシカゴクラブは広報に会員になるとビジネスメリットが得られると謳われ、購入や仕入れは会員相互の取引が義務化され、原則として原価で提供することとなっていた。法律相談はハリスに、保険はニュートンに、文具や印刷はラグルスに、石炭はシールに発注といった具合である。例会で配布される次回出欠予定票に会員間の取引状況を記入させることまで行っていた。



Back Scratching

この制度は会員の事業に大きな経済的効果を与え、クラブの会員たちは大いに相互扶助を享受するようになっていった。

GROW MORE MEMBERSHIP!

～新会員's VOICE 3～

地区会員増強維持拡大委員会 委員 小原 華子 (相模原かめりあ RC)

毎号、順番に各グループから数名の新会員の方をご紹介します、生の声を皆様にお届けしております。

第3回は第5グループの相模原かめりあロータリークラブより2名の新会員をご紹介します。

相模原かめりあロータリークラブは本年度7名の新メンバーが入会いたしました！特に森嶋会長の下、幅広い年代や職種の女性メンバーが仲間になり、コロナ渦でも負けないプラスの風が吹いてきています。目に見えないウイルスとの戦いの中、今こそ同じ思いで人々や社会に少しでも貢献できる奉仕活動を実行し、更にロータリアンとしての横のつながりを強めて行きたいと思っています。

そのような思いの中で、今後の活躍が期待される新会員に抱負を語っていただきました。本来でしたら7名全員にインタビューをさせて頂きたかったのですが、既に東日本大震災関連の奉仕活動をされている鷹濱美春さんと平成生まれの若手ホープで小学校の先生をされている遠藤亜美さんに、Zoomでお話を伺いました。お二人とも緊張されていたようですが、インタビューの峯尾副委員長の機転で終始和やかな時間になりました。新メンバーから見たロータリークラブのイメージや、それぞれが考えるロータリーでの活動など、新たな増強維持のヒントが隠されているかもしれません。

是非、下記のサイトやQRコードからアクセスして、動画をご覧頂ければ幸いです。(動画は約20分ほどです)

新会員 鷹濱 美春(相模原かめりあRC)
遠藤 亜美(相模原かめりあRC)

インタビュアー
峯尾 勝彦(地区会員増強維持拡大副委員長・綾瀬春日RC)
小原 華子(地区会員増強維持拡大委員・相模原かめりあRC)



<https://youtu.be/2vT5nruf8hE>

限定公開設定をしております。
アドレスまたはQRコードを知っている方のみが視聴できる
設定です。配信期間の定めはありません。

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



ちょう みきえ
張 幹枝

- ①藤沢東
- ②2020.11.1
- ③不動産・賃貸
- ④須藤修司



なかむら りつお
中村 律夫

- ①鎌倉
- ②2021.7.6
- ③弁護士
- ④宮本英光



もりた やすほ
森田 保穂

- ①藤沢東
- ②2021.8.1
- ③証券業
- ④梶浦暁



まさき たろう
榎木 太郎

- ①茅ヶ崎
- ②2021.9.2
- ③リサイクル
- ④伊藤和明



いけだ まさふみ
池田 将史

- ①藤沢東
- ②2021.10.1
- ③司法書士
- ④梶浦暁



いちかわ ちさと
市川 千里

- ①伊勢原平成
- ②2021.10.5
- ③社寺建築宮大工
- ④東井克夫
長倉博保

訃報 ご冥福をお祈り致します



たかはし ひでゆき
高橋 秀行 (横須賀RC)

- 2021年9月15日逝去(享年92歳)
- 1985年5月入会
- 2005-06年度 会長
- メジャードナー(レベル1)
- 第8回米山功労者(マルチプル)



むらせ けんせい
村瀬 賢正 (横須賀RC)

- 2021年9月18日逝去(享年87歳)
- 1988年3月入会
- メジャードナー(レベル3)
- 第22回米山功労者(マルチプル)



いわた まさたか
岩田 正崔 (箱根RC)

- 2021年9月26日逝去(享年82歳)
- 2011年4月12日入会
- マルチプルフェロー・
- 準米山功労者

第2780地区 2021年9月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数									
			9月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1	横須賀	1	118	14	121	14	0	0	3	0	-3	0
	横須賀北	0	20	4	20	4	0	0	0	0	0	0
	三浦	1	29	1	29	1	2	0	2	0	0	0
	横須賀西	3	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0
	横須賀南西	3	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0
	計		192	19	195	19	2	0	5	0	-3	0
2	鎌倉	0	79	13	78	13	1	0	0	0	1	0
	逗子	4	45	4	45	4	1	0	1	0	0	0
	鎌倉大船	1	16	0	16	0	0	0	0	0	0	0
	葉山	4	21	4	22	4	2	1	3	1	-1	0
	鎌倉中央	1	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0
	計		183	25	183	25	4	1	4	1	0	0
3	藤沢	0	43	14	42	13	1	1	0	0	1	1
	藤沢西	1	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0
	藤沢東	4	32	7	32	8	3	0	3	1	0	-1
	藤沢北西	0	12	0	11	0	1	0	0	0	1	0
	藤沢南	3	39	7	38	7	1	0	0	0	1	0
	ふじさわ湘南	3	34	1	34	1	0	0	0	0	0	0
	かながわ湘南	2	21	13	21	13	0	0	0	0	0	0
	アーカス湘南	4	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0
	イノベーションコートウェイ湘南	1	28	1	27	1	1	0	0	0	1	0
	計		232	46	228	46	7	1	3	1	4	0
4	茅ヶ崎	4	40	5	39	5	1	0	0	0	1	0
	寒川	0	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0
	綾瀬	0	35	0	35	0	0	0	0	0	0	0
	茅ヶ崎湘南	0	45	1	41	1	5	0	1	0	4	0
	茅ヶ崎中央	0	48	2	49	2	1	0	2	0	-1	0
	綾瀬春日	0	24	1	24	1	0	0	0	0	0	0
	計		222	10	218	10	7	0	3	0	4	0
5A	相模原	0	70	6	68	5	2	1	0	0	2	1
	相模原グリーン	0	52	5	52	5	0	0	0	0	0	0
	津久井中央	0	20	4	20	4	0	0	0	0	0	0
	相模原橋本	1	59	9	59	9	0	0	0	0	0	0
	相模原ニューシティ	2	42	5	42	5	0	0	0	0	0	0
5B	相模原南	0	53	9	51	7	2	2	0	0	2	2
	相模原中	4	27	3	27	3	0	0	0	0	0	0
	相模原西	2	45	5	45	5	0	0	0	0	0	0
	相模原西令和大野コートウェイ	0	8	4	8	4	0	0	0	0	0	0
	相模原東	1	15	4	14	4	1	0	0	0	1	0
	相模原柴胡	2	26	2	26	2	0	0	0	0	0	0
	相模原かめりあ	1	30	30	23	23	7	7	0	0	7	7
	計		447	86	435	76	12	10	0	0	12	10

グループ	クラブ名	例会数	会員数									
			9月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
6	厚木	4	41	2	42	2	0	0	1	0	-1	0
	大和	0	33	5	33	5	0	0	0	0	0	0
	座間	3	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0
	大和中	2	25	1	25	1	0	0	0	0	0	0
	厚木中	3	27	1	24	1	3	0	0	0	3	0
	大和田園	2	31	2	31	2	0	0	0	0	0	0
	海老名	2	51	4	51	4	1	0	1	0	0	0
	海老名樺	1	35	4	35	4	0	0	0	0	0	0
	厚木県央	2	39	4	38	4	1	0	0	0	1	0
	本厚木	0	35	4	35	4	0	0	0	0	0	0
	計		347	28	344	28	5	0	2	0	3	0
7	秦野	3	49	7	49	7	0	0	0	0	0	0
	伊勢原	4	53	3	51	3	2	0	0	0	2	0
	秦野中	4	39	2	39	2	0	0	0	0	0	0
	伊勢原中央	2	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	秦野名水	4	16	7	16	7	0	0	0	0	0	0
	伊勢原平成	3	19	0	19	0	0	0	0	0	0	0
	計		188	19	186	19	2	0	0	0	2	0
8	平塚	4	61	4	59	4	2	0	0	0	2	0
	大磯	1	16	2	16	2	0	0	0	0	0	0
	平塚北	0	36	6	37	6	0	0	1	0	-1	0
	二宮	0	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
	平塚西	0	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0
	平塚湘南	0	46	8	46	8	0	0	0	0	0	0
	計		197	23	196	23	2	0	1	0	1	0
9	小田原	3	64	5	58	2	6	3	0	0	6	3
	湯河原	1	24	3	24	3	0	0	0	0	0	0
	箱根	3	35	2	36	2	0	0	1	0	-1	0
	小田原北	4	31	4	30	4	1	0	0	0	1	0
	小田原城北	0	45	3	45	3	0	0	0	0	0	0
	小田原中	0	49	5	49	5	0	0	0	0	0	0
	足柄	0	17	1	17	1	0	0	0	0	0	0
	計		265	23	259	20	7	3	1	0	6	3
	総計		2273	279	2244	266	48	15	19	2	29	13

地区内クラブ	地区内会員総数(人)
65	2,273 (279)

()内は女性会員

本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員増減数(人)
48 (15)	19 (2)	29 (13)



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2021~2022 Governor

Toru Tajima

■OFFICE

Aizawa Bldg.#1,5F,22-7-501
Minami-Fujisawa,Fujisawa-city,
Kanagawa 251-0055 JAPAN
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
URL :https://rid2780.gr.jp

2021~2022 年度ガバナー

田島 透

■事務所

〒251-0055
藤沢市南藤沢 22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel:0466-25-8855 Fax:0466-25-8866
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
URL :https://rid2780.gr.jp

ガバナー月信 2021年11月1日 第5号